事例No.	1957
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	千葉県袖ケ浦市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設活用 ・公共施設等総合管理計画 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	脱炭素化事業

事例内容・タイトル

市庁舎改修事業（ZEBReady適合工事）

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

脱炭素化事業①

事業の概要

千葉県袖ケ浦市（人口6.5万人）「市庁舎改修事業（ZEBReady適合工事）」

庁舎の耐震補強及び大規模改修を実施するにあたり、省エネルギーの取組として、高断熱化や複層ガラスの採用による建物の遮熱断熱性の向上、高効率空調機器及び全館LED照明の採用などによる消費エネルギーの削減を行った。

事業のポイント

1　建物の遮熱断熱性能の向上
屋根の高断熱化、
複層ガラス（Ｌｏｗ－Ｅ）に交換

2　高効率の空調システムの導入
個別制御性と省エネルギー性に優れた高効率エアコンを採用
ガスコージェネレーションによる発電の排熱を利用した高効率熱源機器を採用

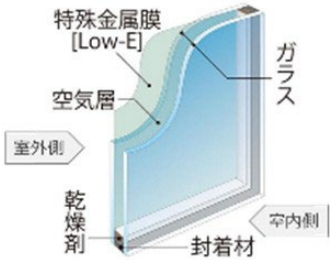
3　人検知照明自動制御システムの導入
ＬＥＤ照明の採用と人の在席状況を検知して照明を自動で制御

事業実施期間：R元～R6年度
（脱炭素化事業の適用はR4年度から）
総事業費5.1億円

1　建物遮熱断熱性能の向上



屋根の高断熱化



複層ガラスに交換

2　高効率空調システムの導入



高効率熱源機器の採用



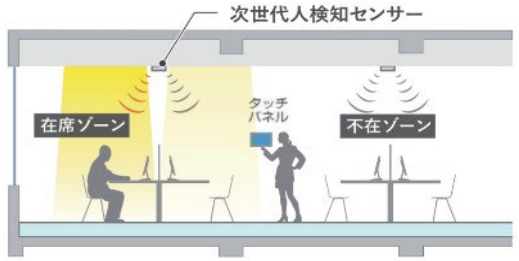
高効率エアコンの採用

3　人検知照明（LED）自動制御システムの導入

高感度の人検知センサーが取得するエリア内の滞在・不在情報を基に、照明設備を最適に自動制御することで、大幅な節電・省エネが実現できるシステムです。



特 徴
- 人を検知する精度が格段に向上（PCや日射の熱を誤認しない）
- 入／切だけでなく無段階の強弱調整も自動化
- 制御ゾーンの区分は容易に変更可能（変更時の配線工事不要）



事業の効果

○　地球温暖化対策の取組として、建物の省エネルギー化を実現することにより、二酸化炭素排出量を削減することができる。